

<伊藤鉄工株式会社>



伊藤鉄工株式会社

～企業紹介～



衛生排水や、建築土木に不可欠な「管材製品」、都市や公園計画のシンボルやアクセントとなる「景観材製品」、生活に彩りをプラスする「キッチン用品」の企画、設計、製造、販売をしており、埼玉県「彩の国工場」に認定されています。伊藤鉄工のビジネス領域は、鋳物の可能性とともにひろがりを見せ、街づくりや人々の生活をサポートしています。創業1931年。社員90人。本社は川口市。

～インタビュー～

外国人社員（ベトナム出身）、2015年入社 of Tran Quoc Toan（チャン クォック トアン）さん。

－入社のかっけは？

埼玉大学の先生が川口市内の企業のインターンシップを行っていて、それに参加しました。研究から販売まで一貫して手掛けている点に魅力を感じて入社を決めました。

－入社後の仕事内容は？

入社後3ヶ月間の研修の後、技術部に配属され設計や金型づくりなどを行いました。その後、品質保証部を1年経験し昨年9月から製造本部に配属になりました。4月からは加工・組立などを担当する第2グループのグループ長として工程管理等の仕事を行っています。一昨年はベトナムの工場で大規模な設備投資があり、長期も含め何度も出張しました。



－職場の雰囲気は？

やりたいことをやらせてくれる風通しの良い職場です。研修期間中に設備の改善を提案したら、即採用され4年たった今も使われています。外国人、日本人関係なく製造部の第1グループのグループ長も外国出身の方です。

－将来の目標は？

将来は技術支援の会社を立ち上げたいと思っています。それとともに日本に来ている外国人たちの支援団体を作りたいです。

⇒後輩へのメッセージ

やりたいことをはっきりさせたほうが良いと思います。今はやりたいことと違うことをやっても、それに向かって頑張れます。

～GGS インタビューアーから～

週末にはセミナーに通ったり、教会で後輩の留学生の相談に乗ったり、とても充実した生活を送っているチャンさん。これからも誠実さを活かして、益々の活躍を期待しています。